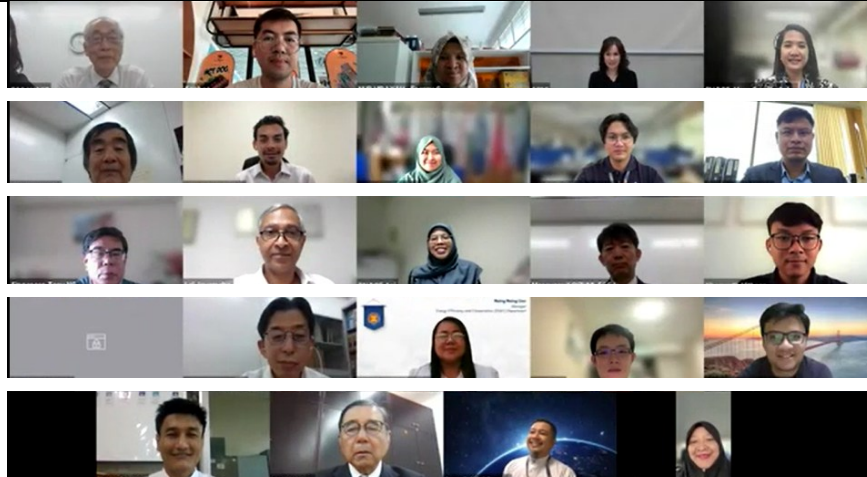


令和7年度 ASEAN向けAJEEP Scheme 4 CSMのオンライン座学研修を実施しました

【事業概要】一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和7年度のASEANに対する省エネ人材育成事業のAJEEP Scheme 4として、CSM* Trial Runの最終となるオンラインの座学研修（Lecture-style Training）を令和7年11月17日（月）から21日（金）までの5日間、ASEAN10カ国政府の省エネ政策・制度・エネルギー管理士研修関係者並びにASEANエネルギー管理プロ志望者を対象に実施しました。



1. 目的：AJEEP Scheme 4の大きな課題の一つであるASEANの地域共通となる標準的なエネルギー管理士認定研修科目（SAEMAS* CSM）の確立は、2022年度から4カ年計画で推進しており、この3カ年、ECCJはAMS 10カ国のSAEMAS WG及びACE*と共に検討してきました。最終年度となる今年度は出来上がったCSMの構成要素である3つの研修を一通りオンラインでTrial Runとして実施し、ASEAN各国のエネルギー管理士研修関係者や政府関係者によりCSM研修テキストや運営法などをECCJが作成したFormatに沿って評価して報告書を提出してもらい、来年1月のWSで確認・討議の上、CSMの最終化を図ると共に、当該制度未整備4カ国を中心にASEAN EMP*を目指すエネルギー管理士志望者に研修に参加してもらい受講面からの評価を行いつつ認定判定を致します。
2. 参加者：CSM Trial Run全体としては評価者が37名、研修生が34名、計68名（内3名は両方に参加）が登録しましたが、この研修には5日間で延べ187名が参加し、研修生としては8カ国、1機関から28名が参加しました。
3. 研修概要と結果：
 - (1) CSMのTrial Runの第3弾としてECCJ主体のエネルギー管理（ACE*も講義分担）、熱技術、電気技術に関する講義を一部音声ビデオも使ってオンラインで4日間実施しました。
 - (2) 研修生は大変熱心に5日間参加し5日目には2時間半の試験を受けましたが、60点以上の合格者は28名中、26名と好成績でした。
 - (3) 評価者による評価結果は各国でまとめ12月8日までに提出とし1月のWSで討議予定です。
 - (4) CSM Trial Runとしては、まだ第2弾のエネルギー診断結果の報告書とそのプレゼン評価が残されていますので12月中に終了し、全体の可否判定を12月末日途に行い、来年1月上旬にASEAN EMPの認定をする予定です。

*CSM: Common Standard Module: 共通標準研修科目

*SAEMAS: Sustainable ASEAN Energy Management Accreditation Scheme

*ACE: ASEAN Centre for Energy

*EMP: Energy Management Professional: ASEAN地域に新たに設定するエネルギー管理プロフェッショナル